

麦づくり情報(No.4)



1. 麦作況情報田の生育概況(3月2日現在)

| 場所 | 品種名 | | 播種日 | 草丈 (cm) | 茎数 (本/㎡) | 主稈葉数 (L) | 葉色 | 概況 |
|--------|-----------------|-------|-------|------------|-------------|-------------|------|---|
| 牛 津 | サチホゴールド 4条播き | 本年値 | 12/10 | 32.8 | 1347 | 8.9 | 35.7 | ◎農試平年値と比較する。 (昨年値はカモ食害の影響があったため) 草丈は平年より高い。(191%) 茎数は平年より多い。(149%) 葉令からみた生育は平年より早い。 |
| | | 昨年値 | 12/14 | (21.9) | (786) | (6.8) | - | |
| | | 農試本年値 | 12/10 | 34.0 | 924 | 8.0 | - | |
| | | 農試平年値 | 12/10 | 17.2 | 903 | 6.2 | - | |
| 大 和 | シロガネコムギ 8条播き | 本年値 | 11/21 | (45.7) | (218) | (9.7) | 36.8 | ※調査区は鳥害の影響あり。葉色は調査 区外を測定。 ◎農試データの生育から 草丈は平年より高い。(189%) 茎数は平年よりやや少ない。(94%) 葉令からみた生育は平年より早い。 |
| | | 平年値 | 11/29 | 31.2 | 784 | 7.2 | - | |
| | | 農試本年値 | 11/20 | 55.0 | 709 | 8.6 | - | |
| | | 農試平年値 | 11/20 | 29.1 | 756 | 7.3 | - | |

※農試本年値、平年値は作況の3月2日調査データを記載

2月3～6半旬の気象状況は、平均気温 10.0℃ (平年+2.7℃)、降水量 132 mm (平年比 220%) と、高温で降水量が多い天候が続いている。

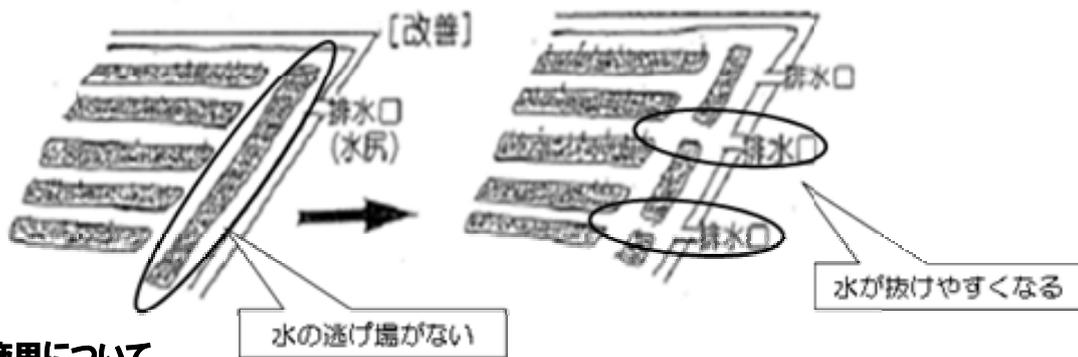
小麦で11月中下旬播種した圃場では、葉齢が8～9葉期を迎えている。また、大麦で12月上中旬播種した圃場では、現在8～9葉期を迎えており、小麦・大麦ともに茎立ち期(節間長20～30mm)を過ぎている圃場がある。

多雨傾向によりまくら地に滞水し、排水が悪い圃場では麦の黄化している圃場が見受けられる。

2. 今後の管理

○排水対策

1月下旬～2月にかけて平年の2倍以上の降雨があった。湿害により根の生育が抑制され、登熟に影響するため、葉の黄化がみられる圃場では、**排水溝を再整備するなど排水強化**を行う。



○穂肥施用について

ビール大麦 【タンパク質含有率値確保(10～11%)のため、穂肥施用を行う】

2月の降水量と葉色により、穂肥量を決定する。

降水量が多い場合は、肥料の流亡が多くなるため、施肥量を多くするという考え方である。

ただし、倒伏を招く可能性があるため、過剰な施肥は行わない。時期は、茎立期頃までに実施する。大豆後においても同様に施肥を行うが、中間追肥を減らさずに行った圃場においては施肥しない。

今年の2月の降水量は
132mmである。

| | 2月の月間降水量 平年値:77mm | 3月上旬の葉色 (SPAD値) | 穂肥施用量 BB602(N成分)/10a |
|----|----------------------|--------------------|-------------------------|
| 大麦 | 100mm以上 | 葉色にかかわらず 原則施用する | 20(3)kg |
| 小麦 | | | 地域のこよみに準ずる |

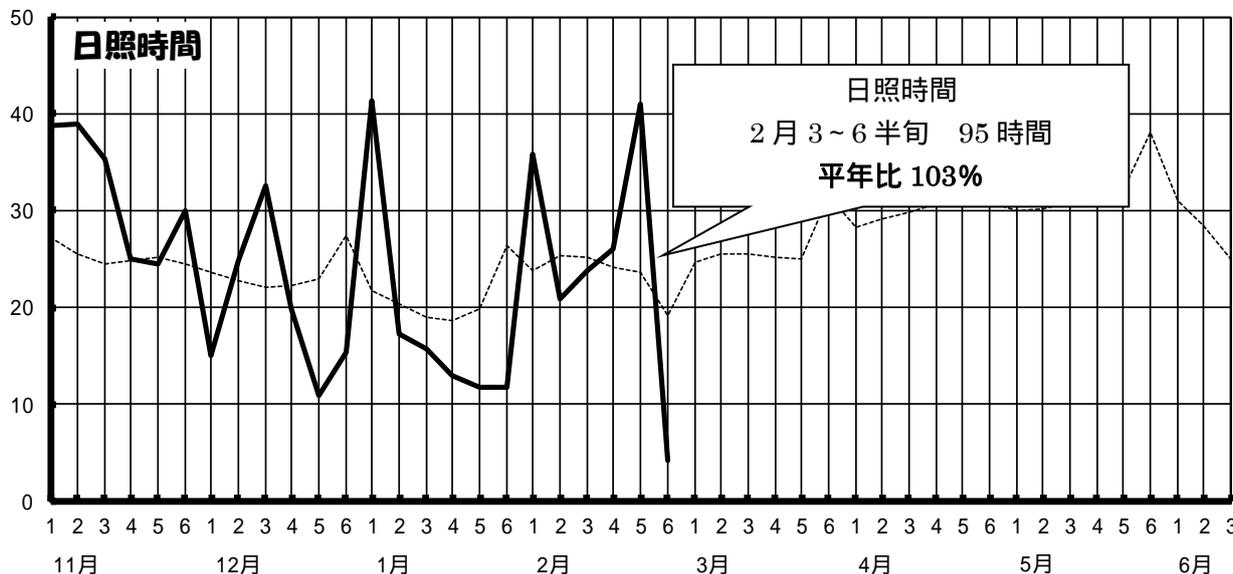
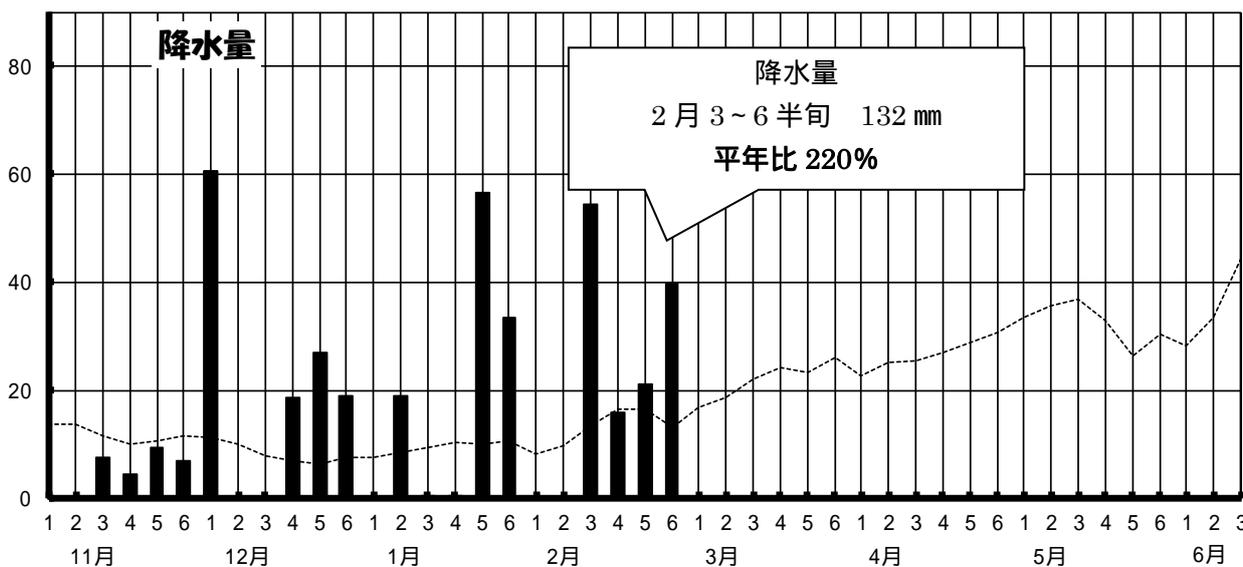
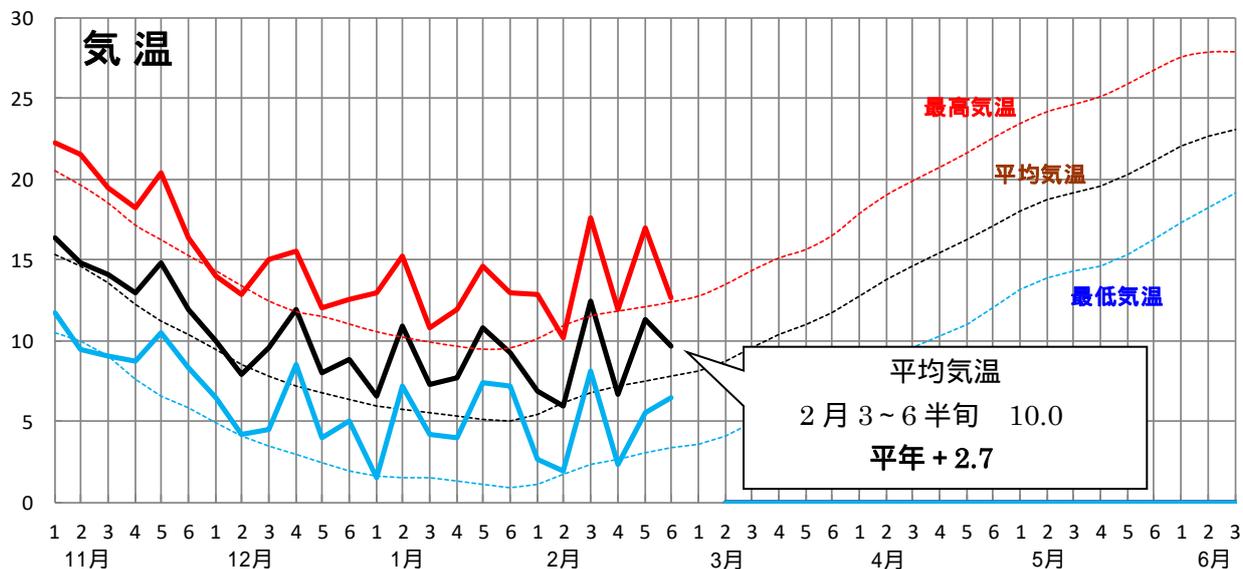
○病害虫防除

大麦：一部圃場で網斑病の発生がみられる。若い葉で確認された場合は、直ちに網斑病対策としてチルト乳剤で防除する。

2年産麦類生育期間気象グラフ

アメダス観測値（佐賀）

佐城農業改良普及センター



グラフ中の点線は平年値